



那賀防火管理協議会会報

第39号

編集・発行
那賀防火管理協議会
事務局
(那賀消防組合内)

取り付けましたか?

設置は義務です

住宅用火災警報器

あなたの住宅にも、火災警報器の取り付けが義務付けられています。

もう一点、感知器を設置する場所について、大多数の家庭が台所に設置していましたが、火を使用するので、火事になる可能性が高いというイメージで付けているという意見が多く聞かれました。

すべての住宅に設置する必要があります。

那賀消防組合では、住宅用火災報知器の未設置世帯に対して、また火災予防条例に適合するように設置推進活動として、紀の川市・岩出市管内を調査並びに設置指導にまわらせていただいています。平成23年からすべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。それ以降も毎年のように警報器の設置に向け普及促進活動を行ってまいりました。

全国での設置率や和歌山県での設置率も統計から出ておりますが、調査時、各家庭においての認識は義務になつていくことは余り知られていないように見受けられます。

住宅用火災警報器は台所にというイメージを、「**寝室・階段**」に付けると意識付け



住宅火災では「逃げ遅れ」が原因で死亡するケースが非常に多く、なかでも就寝中の午前2時から6時までの時間帯に、逃げ遅れで亡くなる高齢者が多いという統計が出ています。寝ている間は無防備であり、火事になかなか気づかず、煙にまかれて犠牲になることが多いため、「**寝室・階段**」に設置すること、と

条例で設置しなければいけない場所は「寝室・階段」です。

住宅用火災警報器を適正に設置していただき、住宅用火災警報器の設置率・条例適合率を上げるとともに、住宅火災での犠牲者・被害者の軽減につなげていけるよう普及啓発を引き続き行いたいと思

住宅用火災警報器を適正に設置していただき、住宅用火災警報器の設置率・条例適合率を上げるとともに、住宅火災での犠牲者・被害者の軽減につなげていけるよう普及啓発を引き続き行いたいと思

「台所」の設置については、「**寝室・階段**」に設置し、更に「**台所**」に設置していただくのであれば、より安全です。「**台所**」は取付け場所として「義務」ではなく、おすすめする場所として、指導させていただいております。万が一のことを考慮し、「**台所**」にも取り付けをおすすめしています。

以上のことから、紀の川市・岩出市管内での住宅用火災警報器調査での特徴的なイメージに関して意識改革を行いました。



できるようお願いしたいと思います。

那賀防火管理協議会 会長就任あいさつ



医療法人 共栄会名手病院
事務長 笠松 正志

那賀防火管理協議会会長の笠松です。去る平成29年4月に、前北田会長が退任されたため、役員理事会におきまして、急きよ新会長に選任されました。

会長としてまだまだ未熟ですが、その重責を噛みしめながら、那賀防火管理協議会の発展のため、前会長の意思を継承し、役員はじめ、消防組合様のご支援を賜りながら全力で取り組みますので、会員皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて平成30年の新しい年がスタートし、会員の皆様には新しい目標を掲げ、その目標に向かって第一歩を踏み出したところであると存じますが、社会情勢は決して明るく輝かしいとは言えず、北朝鮮の核・ミサイル

開発問題で、弾道ミサイルが二度にわたり発射され、我が国の上空を通過する事態が発生、国内の平和維持に大きな懸念をもたらす状態が継続し、社会全体を不安に落とし入れる暗いニュースがあつとを絶ちません。また台風や集中豪雨による自然災害、地震や火災等の被害は、私たちの身体や生命、財産にまで及ぶものであり、日頃からの備えが重要であります。我々協議会が目指す「自分たちの職場は自分たちで守る」は、こういった災害から被害を未然に防止し、または被害の軽減を行い、そして「明るい災害のない街づくり」のための地域社会への貢献であります。

- #### 那賀防火管理協議会役員名
- 会長 医療法人共栄会名手病院 事務長 笠松 正志
 - 副会長 紀和化学工業株式会社貴志川工場 貴志川工場長 岩本 康良
 - 副会長 社会福祉法人皆楽園 居宅介護サービス事業部長 林 知規
 - 監事 株式会社台和 和歌山工場 総務担当 駒阪 康典
 - 監事 ホテリいとう 取締役支配人 北田 信幸
 - 理事 パナソニックグループA.I.S社 三洋電機(株)二次電池事業部 和歌山工場 和歌山担当部長 林 佳彦
 - 理事 コカ・コーラウエスト 株式会社打田事業所 業務マネジャー 浜沢 大輔
 - 理事 紀の川市役所 総務部次長 山野 浩伸
 - 理事 デュプロ精工株式会社 製造部門クニカルマネジャー 田村 健
 - 理事 株式会社メイウ 総務グループマネジャー 岡 徳治
 - 理事 パンダー化学株式会社和歌山工場 工場長 谷口 登志治
 - 理事 和歌山ノーキョー食品工業(株) 桃山工場 工場長 井上 恭和
 - 理事 医療法人殿田会 事務長 中山 太郎
 - 理事 医療法人富田会 富田病院 事務長 楠山 隆也
 - 理事 岩出市役所 総務課長 木村 清隆



(平成29年10月1日現在)

防火管理協議会 この一年



四月

▼第1回理事会を開催
4月26日、那賀消防組合消防本部において、第1回理事会を開催しました。(16人が出席)



五月

▼定期総会を開催

5月29日、岩出市宮ホテルというバンケットホールにおいて、平成29年度定期総会が開催され若林那賀振興局長はじめ、中芝岩出市長様・中村紀の川市長様ご臨席のもと盛大に開催されました。



最初に笠松会長から「南海トラフ地震等の大規模災害に備え、自助精神を高め、共助精神の育成に努めて、安全・安心な社会を求め、より積極的に活動していくと挨拶がありました。」

出席者は、会員40事業所から44人、参与及び事務局を併せ57人が出席され、議事審議は、全て原案どおり承認されました。

また、会員事業所における防火管理の重要性を深く認識し、当協議会が主催する自主防災に関する事業活動に積極的に参加されたことにより、その活動は他の模範となり、その功績をたたえ平成28年度優良団体表彰が株式会社尾高工作所へ笠松会長から行われました。



(優良団体表彰・尾高工作所)

また、特別講演では、岩出警察署交通課長の廣海泰宏様に「岩出警察署管内の交通情勢」についてご講演を頂きました。廣海様には、私達協議会のため大変お忙しい中、ご講演頂き有難うございました。



(特別講演 廣海泰宏様)

六月

▼消防組合防災ひとつくり事業の標語へ応募協力

表彰式及び展示会は、12月9日・10日に紀の川市、粉河ふるさとセンターに於いて盛大に開催されました。

地震防災標語は、3,925点の応募があり、標語審査委員会による厳正なる審査が行われ、審査の結果、那賀防火管理協議会の会員も表彰を受けました。今回入選された方々は次のとおりです。



【優秀賞】

「あつ！地震!?心揺らさず

安全確認」

デュプロ精工株式会社

山本 徹

「防災は備えと地域の助け合い」

岩出市役所（山崎保育所）

奥村佐智子

【秀作】

紀の川市役所

大森 政和

岩出市役所（山崎保育所）

竹内 知子

【佳作】

株式会社 総合車両製作所

有本 尚生

和歌山ノーキョー食品工場(株)

桃山工場

田村 嘉章

医療法人 彌栄会

やよい苑

介護老人保健施設

濱塚明日香

岩出市役所（山崎保育所）
横関千亜貴

八月

▼普通救命講習会

8月21日・22日の午前午後の計4回、那賀消防組合消防本部においてAEDを使用しての普通救命講習会を開催しました。受講者は、15事業所から65名が受講しました。

(別載)



十月

▼第2回理事会を開催

10月19日、那賀消防組合消防本部において、第2回理事会を開催しました。(15人が出席)

▼第16回消防操法大会開催

消防操法大会が10月27日、紀の川市花野、打田若もの広場において那賀消防組合と那賀防火管理協議会が共催のもと、多くの来賓・関係者が臨席し盛大に開催されました。



(別載)



十一月

▼秋季全国火災予防運動に伴う

実施要綱作成

火災予防運動期間中（11月9日から11月15日）事業所の実践活動の取り組みとして火災予防運動中の実施要綱を作成しました。

（57事業所で実施）



▼会員視察研修を実施

11月21日、那賀防火管理協議会の会員研修を実施しました。今回の研修は、神戸市中央区にあります「人と防災未来センター」と淡路市にある「北淡震災公園・野島断層」にて防災に関する研修を受けました。

（別載）



一月

▼那賀消防組合消防出初式参加

1月8日、平成30年那賀消防組合消防出初式が岩出市金池、岩出市総合保健福祉センターにて開催されました。当日は雨天であったため予定していた大宮緑地総合運動公園での訓練披露等



は出来ず、式典のみの出初式となりました。雨天の出初式は協議会発足以来ほとんどありませんでした。

出初式式典に、那賀防火管理協議会会員事業所22事業所87人が参加しました。



二月

▼春季全国火災予防運動に伴う

実施要綱作成

火災予防運動期間中（3月1日から3月7日）事業所の実践活動の取り組みとして火災予防運動中の実施要綱を作成しました。

（67事業所で実施）



三月

▼救出・救護訓練を開催

3月13日、紀の川市花野、紀ノ川河川敷グラウンドにおいて地震により倒壊した建物内の要救助者を一般家庭や会員事業所で身近にある資機材を活用して「救出・救護」する訓練を実施しました。

南海トラフ地震が非常に高い確率で発生すると予想される中、昨年に引き続き多くの方が参加しました。



（救出救護訓練）



（24事業所から59人が参加）

▼会報第39号発刊

会報第39号を会員事業所及び那賀防火管理協議会の運営にご指導、ご協力をいただいている関係機関等へ発刊。

普通救命講習会

突然のケガや病気の時、家庭や職場でできる「応急手当」や、急な重篤で緊急を要する病気のときに、人の命を救うための「救命処置」を学ぶため、各事業所から65名の会員さんが講習会を受講しました。



傷病者の命を救い、社会復帰に導くために必要となる一連の行いを「救命の連鎖」といいますが、救急隊が到着するまでの間、その場に居合わせた人が救命処置を行うことで、生存率が高く、さらにAEDにより電気ショックを行うことにより、生存率・社会復帰率

が高くなります。救急隊がどんなに頑張っても埋められない空白の時間です。その部分を引継いでいただくのは居合わせた人（受講していただいている会員さん）です。



救命処置は役割分担して、処置が途切れないよう行うことが重要です。皆さん初めての方向士が力を合わせて訓練に挑まれました。

心肺蘇生法に関しては、特別な器具は必要ありません。AEDも講習で使っていたいただきましたら、思っていたほど難しくなく使える器具だと思えます。皆さんとても熱心に訓練をされていました。有事に備えてとても心強く感じる講習会でした。

第16回消防操法大会開催



(会員26事業所)

10月27日、消防操法大会が紀の川市花野、打田若もの広場において那賀消防組合と那賀防火管理協議会が共催のもと、第16回消防操法大会が開催され、若林那賀振興局長をはじめ、多数のご来賓を迎え、会員事業所から42チーム104人が参加し盛大に開催されました。

今回で16回を迎える防火管理協議会の恒例イベントであり、参加各隊も公式練習での成果を十分に発揮できるよう意気込みを持って大会に臨まれていました。開会式で、昨年度各種目1位の代表チーム（屋内消火栓操法1号栓の部）岩出市役所から優勝トロフィーが大会顧問、中芝消防組合管理者に返還されました。



(1号消火栓の部 第1位 岩出市役所)

また、競技開始にあたり、選手を代表して、バンドー化学(株)歌山工場の前川裕紀さんが、「私たちの職場は、私たちが守る、の自主防火精神にのっとり、持てる力を精一杯発揮することを誓います。」と力強く選手宣誓を行い各競技が始まりました。



(1号消火栓操法)

成績は競技形式にて順位が決まりますが、各チーム共々、僅差で優劣付け難く、審査員の方々も大変苦労されたと思います。



(選手宣誓)



(屋外消火栓操法)



(消火器操法)

ご参加いただきました選手の皆様や応援に来られた各事業所の皆様、関係各位、長時間にわたり、ご苦労様でした。



(2号消火栓操法)



- ★第1位 岩出市役所
- ★第2位 近畿大学生物理工学部
- ★第3位 デュプロ精工株式会社
- ★特別賞 近畿大学生物理工学部

【屋内消火栓1号栓の部】

毎年、各事業所から本大会に向け、練習を積み重ねるのも16回となり、「継続は力なり」と各自衛消防隊の消火技術も年々向上されていますことに心強く又、喜びを感じるとともに、その努力に対しまして感謝を申し上げ、ご参加頂いた皆さんの熱意とご努力に心から敬意を表します。本当にご苦労様でした。
以下入賞者は次のとおりです。



- ★第1位 社会医療法人三車会
- ★第2位 医療法人 彌栄会
- ★第3位 医療法人 彌栄会
- ★特別賞 介護老人保健施設やよい苑
北広ケミカル(株)桃山工場

【消火器操法の部】



- ★第1位 バンドー化学(株)和歌山工場
- ★第2位 岩出市役所
- ★第3位 和歌山バス那賀株式会社
- ★特別賞 社会福祉法人 皆楽園

【屋内消火栓2号栓の部】

〔屋外消火栓操作法の部〕

★第1位 パナソニック(株)

A I S 社 三洋電機(株)

★第2位 紀の川市役所

★第3位 株式会社 総合車両製作所

和歌山事業所

★特別賞 デュプロ精工株式会社



役員視察研修

11月21日、岩出市を午前8時30分に出発、岩出根来インターから阪和自動車道、阪神高速湾岸線を経由し、神戸市中央区の「人と防災未来センター」へ向かいました。

防災未来センターは、東館・西館から成り、それぞれ防災に関する体験・研修を受けることができる施設となっており、指定のコースを体験する予定でありましたが、交通渋滞により、東館での研修は受けられず、西館での映像で振り返る阪神大震災や展示物等を見て、改めて当時の地震のすごさを肌身で感じ、「この地震の怖さ」を強く感じました。



震災から23年が経ち、震災を経験していない世代も多くなってきました。センターでの体験を活かし、震災の記憶を風化させることなく、後世に語り継ぐことが重要だと改めて感じさせられました。



「北淡記念公園」では、天然記念物に指定されている野島断層を見学し、通常、地面が割れ、ズレが生じるという現象を目にすることはなく、貴重な保存された断層を見て、当時の地震エネルギーの大きさに驚かされました。



震災家屋がそのまま残っている「メモリアルハウス」も見学し、地震に強い家という印象がありました。それ以上に生々しい被災当時の様子が伝わってくる展示だと感じました。



両研修場所とも、地震の怖さを再確認させられる内容でした。この研修を基に参加された会員の方々、いつ発生するかわからない南海トラフ地震に対する減災対策に役立てていただければと感じた次第です。最後に道中、事故も無く、参加していただいた会員の皆様にも満足いただき、有意義な研修であったと思います。

第11回しりとりクイズ

問①「住宅用火災○○○○○」は、10年を目安に、とりカエルことをおすすめします。わが家と家族を守る基本です。

問②○○○○○庁は、静止気象衛星ひまわりを用いて、雲などの観測を宇宙から行っています。

問③○○○動物園は1882年開園した日本で最初の動物園です。パング「シャンシャン」がいます。

問④乳幼児から高齢者までの幅広い年齢層に急性胃腸炎を引き起こす、ウイルス性の感染症です。

問⑤芯に火を点して灯かりなどとして用いる。基本的に屋内の照明として利用されてきた歴史があります。○○○○○

問⑥紀伊山地を背に潮岬が雄大な太平洋に突き出した本州最南端の○○○○○町。

問⑦西武ライオンズが本拠地としている埼玉県○○○○○市にあるドーム球場。

問⑧国際サッカー連盟(FIFA)が主催し、4年ごとに開催されるサッカーの世界選手権。2018年はロシアで開催。○○○○○

問⑨ある物事を職業として行い、それで生計を立てている人。「その道の○○○」「○○○顔負けの腕前」

問⑩道路の主要構造部を保護し、又は車道の効用を保つために、車道、歩道、自動車道または自転車歩行者道に接続して設けられる帯状の道路の部分。○○○

問⑪北西太平洋に存在する熱帯低気圧のうち、低気圧域内の最大風速が約17m/s以上にまで発達したものを指す呼称とは？○○○○○

問⑫降水量を測るために使用する観測計器です。○○○○○

問⑬「○○○○○の火の館」は、広川町にある防災教育施設であり、濱口梧陵記念館と津波防災教育センターとからなる施設です。

問⑭球技で使用するボールやシャトルを打つために使用するスポーツ用品です。○○○○○

問⑮○○○○○地震は、紀伊半島沖から遠州灘にかけての海域(南海トラフの東側)で周期的に発生するとされている海溝型地震です。

第11回しりとりチャレンジクイズ

1	→		2		↓
→		9	10		3
	→	14		11	
			15		4
8	13			←	5
					12
	↑		7		6
↑					←

青色ワクの文字を並べかえてできた言葉が答えです。

答え…住宅用火災○○○○○で助かる命があります！

応募方法

ハガキに住所・氏名・年齢・事業所名・クイズの答え・会報39号へのご意見、ご感想を書いて送ってください。

正解者の中から抽選で10名の方に非常用LEDヘッドライトをプレゼントします。



締め切り

平成30年4月27日(当日消印有効)

送り先

〒649-1621

岩出市中迫154

那賀消防組合消防本部予防課内
那賀防火管理協議会事務局まで

抽選の結果は、商品の発送をもって代えさせていただきます。